

# 資源循環いばらき

一般社団法人茨城県産業資源循環協会  
〒310-0852 水戸市笠原町 978 番 25  
茨城県開発公社ビル 4 階  
TEL/029-301-7100 FAX/029-301-7103  
<https://www.ibaraki-sanpaikyo.or.jp>

## 令和8年新春賀詞交歓会を開催

令和8年1月27日(火)、行政及び関係団体の方々や会員相互の交流を行うため、312名にご参加いただき、新年の門出を祝いました。



令和8年1月27日(火)、ホテルレイクビュー水戸において、当協会の令和8年新春賀詞交歓会を開催いたしました。

はじめに沼田会長から「本日は、公務ご多忙の折ご来賓といたしまして、茨城県知事 大井川和彦様、石川県民生活部長はじめ関係各課、県民センター、関係団体、当協会顧問の皆様のご隣席を賜り、誠にありがとうございます。協会を代表いたしまして厚く御礼を申し上げます。

昨年末は一昨年に続き高病原性鳥インフルエンザが発生し、当協会といたしましても防疫作業や焼却処理などの対応に協力をさせていただきました。

会員企業の皆様には、年末年始の大変お忙しい中、多大なるご尽力を賜りました。この場をお借りして心より御礼を申し上げます。」と年頭のあいさつがありました。

大井川知事からも、高病原性鳥インフルエンザの防疫はじめ日頃の行政への協力に対する御礼と茨城県が置かれている現状、今後益々のご支援をお願いしたい旨のごあいさつをいただき、大木副会長の乾杯により、終始和やかに懇談が交わされ、盛会のうちに閉会をしました。

一般社団法人茨城県産業資源循環協会  
会長 沼田 元良 あいさつ



皆さん、新年あけましておめでとうございます。

協会会長を務めております沼田です。どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今日は、公務ご多忙の折ご来賓といたしまして茨城県知事 大井川和彦様、石川県民生活部長はじめ関係各課、県民センター、関係団体、当協会顧問の皆様のご隣席を賜り、誠にありがとうございます。協会を代表いたしまして厚く御礼を申し上げます。

また、協会会員の皆様にも大勢ご出席をいただきましたこと、誠にありがとうございます。

さて、昨年を振り返りますと、全国各地で自然災害や家畜伝染病への対応が相次ぎ、地域の安全・安心を支える現場力の重要性を改めて認識する一年でありました。

本県におきましても、昨年末は一昨年に続き高病原性鳥インフルエンザが発生し、当協会といたしましても防疫作業や焼却処理などの対応に協力をさせていただきました。

会員企業の皆様には、年末年始の大変お忙しい中、多大なるご尽力を賜りました。この場をお借りして心より御礼を申し上げます。

また、県内では幸いにも大規模な災害の発生はございませんでしたが、昨年12月の青森県東方沖地震、今年1月の山陰地方における大きな地震など、自然災害は全国各地で相次いでおります。災害は忘れた頃にやってくるというのはいぶん昔の話で、最近では忘れる間もなく発生しております。

今後とも会員企業の皆様、県内市町村、関係団体、さらには県外の団体・事業者とも連携を深め、迅速かつ的確に対応できる体制整備に努めてまいります。

一方で、現在、私ども産業資源循環業界、大きな変化と変革の真ただ中にあります。国は循環型社会の実現を重要政策課題の一つとして国家戦略に位置付け、「再資源化事業等高度化法」を制定し、昨年11月に全面施行いたしました。

本制度は技術の高度化やCO<sub>2</sub>削減など、一定の要件を満たす事業者について、廃棄物処理法の許可を不要とするものであります。今後は大きな資本力を有する大規模事業者の参入も想定され、業界内の競争環境は一層厳しさを増すことになりそうです。我々はこの流れに的確に対応しなければなりません。

また、人材不足は極めて深刻な問題であり、賃金や福利厚生の実態だけでは十分な確保が難しい状況にあります。今後は、外国人材の活用も重要な選択技となってまいります。そのような中、外国人材の活躍促進を掲げておられる大井川知事が昨年の知事選において見事にご当選されたことは、私ども業界にとりまして大変心強いことでもあります。

国におきましても、特定技能制度の対象分野に資源循環分野を加えるという閣議決定が1月23日になされました。制度環境も大きく変わろうとしております。当協会といたしましても、これらの変化を的確に捉え、会員企業の皆様の発展に寄与できるよう、変化と変革を怠ることなく取り組んでまいります。

さらに大井川知事には、日立市内における産業廃棄物最終処分場「エコみらいひたち」の整備につきましても多大なるご尽力を賜っております。

竣工はいよいよ来年と伺っており、事業は順調に進捗しているものと承知しておりますが、その過程においては、現在も多くのご苦勞がおありのことと存じます。大井川知事をはじめ県の関係部署、並びに事業主体であります茨城県環境保全事業団の皆様にご改めて深く感謝を申し上げます。

最終処分場は、私ども産業廃棄物処理業にとって必要不可欠であります。協会といたしましても引き続き可能な限りのご協力をさせていただきたいと存じます。

結びに、伸びゆく大井川県政益々の発展、本日ご参集の皆様方のご健勝とご多幸、並びに当協会のさらなる発展を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

## 茨城県

大井川 和彦 知事 あいさつ



皆様、あけましておめでとうございます。

茨城県産業資源循環協会、賀詞交歓会が大変盛大に開催されましたこと、心からお慶び申し上げます。

先ほど開会のお言葉の中でも 300 人を超える会ということで、たくさんの方が集まる新年会は、そういう業界なかなかないということで大変感銘を受けております。

まず最初に、2025 年 12 月の城里町で発生しました、鳥インフルエンザ防疫措置作業に大変多大なるご支援をいただきましたこと、本当に心から感謝申し上げます。

毎年年末恒例になってしまい、大変申し訳ないという状況ではありますが、おかげさまで大変迅速に防疫作業を終了させることができました。これもひとえに皆様方の御支援のためのものでございます。本当にありがとうございます。

一方で、物価高や国際情勢の混沌とした流れの中で、地方が生き延びていくためにはしっかりと特徴を発揮して、持てる力、潜在能力を発揮して成長していくということが大変重要ではないかと思っております。

そういう中で茨城県は全国の中でも県外企業誘致、これも8年連続全国1位、それから社会的人口の移動、流入超過で全国8番目ぐらいの順位になっております。一人当たり県民所得は3年連続、東京、愛知について全国3位という、非常に潜在能力を発揮して、好調な経済発展を維持していると思っております。

循環型社会という課題の中で、皆様の果たす役割は非常に大きいと考えておりますし、茨城県としても循環型社会の形成に向けて、最大限の努力を進めており、新産業廃棄物最終処分場エコみらいひたちの整備についても着実に進めております。

また、不法投棄や不適正な残土処分についてもしっかりと指導体制を強化し、警察OBなどの専門チームを設置しており、一時期に比べるとずいぶん減ってきていると思います。

さらに、ヤードの問題では、2025 年 11 月に坂東市内の再生資源保管事業所で火災が発生し、過去は常総市などでも何度か発生していますが、こういうものについても保管基準の厳守を徹底して、再発防止をしっかりと行い、引き続き再生資源物保管の適正化に関する条例の厳格な対応を進めていきたいと思っております。

その中でぜひ、非常に勢いのある、茨城県産業資源循環協会の皆様に、しっかりと力強くご支援いただきますことを、心からお願い申し上げたいと思っております。

結びに当たりまして協会の益々のご発展、それから皆様のこの1年が素晴らしい1年になりますこと、これを祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

本日はおめでとうございます。



## 協会ニュース

### 令和7年度第2回災害対応研修会について

令和7年8月26日（火）、水戸合同庁舎2階大会議室において、環境省関東地方環境事務所資源循環課及び茨城県県民生活環境部資源循環推進課主催による災害対応研修会が開催されました。

本研修会は、災害発生時における仮置場の対応力向上と、協定締結機関間の連携促進を目的としており、県内自治体の災害担当者と当協会各支部の担当者が参加しました。

研修では、参加者がグループに分かれて「災害廃棄物仮置場の設置・運営について」のワークショップを実施し、意見交換を活発に行いました。

研修会を通じて、顔合わせの機会も得られ、災害時に備えた市町村担当者との連携体制の理解を深めることができました。



### 再資源化事業等高度化法に関する研修会を開催



令和7年9月10日（水）に、茨城県開発公社ビル4階大会議室において、（公財）全国産業資源循環連合会顧問弁護士の芝田麻里先生を講師にお迎えし、再資源化事業等高度化法に関する研修会を開催しました。

会員77名が受講し、芝田先生からは、再資源化事業等高度化法の認定を受けるには、温室効果ガス削減効果のある取り組みが求められるなどのご説明がありました。

終了後は、ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸ガーデンキッチン・リチェッタにおいて芝田先生をお囲みして懇親会を開催し、交流を深めました。

## 親睦チャリティゴルフコンペを開催

令和7年9月18日(木)スターツ笠間ゴルフ倶楽部にて、協会会員等104名(プレー101名)の参加で第25回親睦チャリティゴルフコンペを開催しました。当日はあいにくの天気となってしまいましたが、プレー後、成績発表と授賞式を実施し、(株)美浦クリーン 石井淳嗣 様が優勝しました。

また、皆様からお預かりしたチャリティ募金は、茨城県福祉部福祉政策課の「茨城県災害ボランティア活動支援基金」に寄付を致しました。

コンペに参加された皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

個人成績	氏名	会社名	NET/グロス
優勝	石井 淳嗣	(株)美浦クリーン	68.8/88
準優勝	及川 晃司	新和企業(有)	70.2/75
3位	益子 幸男	(有)EMISケイコーポレーション	70.4/86
4位	大竹 陽介	アサヒセイレン(株)	71.0/83
5位	上甲 龍也	(株)フロムダブリュー	71.4/93

\*集計方法：18ホールストロークプレー (HDPC 無制限)



沼田会長(中央左)が市村次長に寄付金の目録を手渡した

## 県災害活動支援基金へ寄付

県産業資源循環協会

県産業資源循環協会(沼田元良会長)は13日、県福祉部を訪れ「県災害ボランティア活動支援基金」へ寄付金の贈呈を行った。沼田会長が県福祉部の市村志保次長に対して寄付金の目録を手渡した。寄付金は9月に行った協会主催のゴルフコンペでのチャリティー収益金14万9638円。同協会から同基金への寄付は2022年8月と23年10月に続いて今回で3回目。

沼田会長は「寄付金を有効に活用していただきたい。災害時には災害協定に基づき、協会として迅速に対応できるような訓練や連絡体制を強化したい」と述べた。市村次長は「貴重な寄付金を大切に使用させていただくと感謝した。災害ボランティア活動支援基金は、21年4月に設置。災害時に被災者支援を行うボランティアの活動支援を目的としている。」



令和7年11月26日「日本工業経済新聞」掲載

## 大木副会長が循環型社会形成推進功労者等環境大臣賞を受賞されました

令和7年10月31日（金）に、北海道のグランドメルキュール札幌大通公園において、『第1回資源循環と環境を考える全国大会』が開催され、その中で「令和7年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰」表彰式があり、当協会の大木清実副会長（有）プライムクリエイト）が産業廃棄物関係事業功労者環境大臣表彰を受賞されました。



全国大会では、（公社）全国産業資源循環連合会 永井会長からの挨拶の後、来賓挨拶があり、続いて、環境省環境再生・資源循環局長の門倉一郎氏より『循環経済は国家戦略』、北海道大学大学院工学研究院環境工学部門教授の石井一英氏より『持続可能な社会とサーキュラーエコノミー』の講演がありました。

講演後、令和7年度環境大臣表彰受賞式典（産業廃棄物関係事業功労者）が盛大に執り行われました。

また、全国大会に合わせて10月30日（木）～11月1日（土）に、会員26名の参加で県外研修会を開催しました。



## 電子マニフェスト項目追加説明会を開催

令和8年2月4日（水）に、茨城県開発公社ビル4階大会議室において、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターの葛西 聡 氏、伊東 匠 氏を講師にお迎えし、処分業者向け「電子マニフェスト項目追加説明会」を開催しました。

会員60名が受講し、制度変更の背景と概要、追加される項目と再資源化等の情報パターンなどについてのご説明がありました。



## 吉成英樹氏が不法投棄防止功労者表彰を受賞されました

令和7年12月22日(月)、茨城県主催、(一社)茨城県産業資源循環協会の共催で、茨城県庁9階講堂において『令和7年度茨城県ボランティアU. D. 監視員合同研修会』が開催されました。

茨城県県民生活環境部霞ヶ浦浄化対策監兼廃棄物規制対策監 江幡一弘 様の挨拶のあと、廃棄物の不法投棄防止に向けて率先して活動し、その未然防止や早期発見等に多大な貢献のあった方の茨城県不法投棄防止功労者表彰が行われ、当協会の櫛リサイクルパーク 吉成英樹 様が茨城県ボランティアU. D. 協会監視員として受賞されました。



表彰式に続いて、気象予報士・防災士で医療系専門予備校「臨床アカデミー」講師、気象予報士を目指す「気象学院」の副学院長等として数学の学習指導を行う傍ら、筑波大学大学院、神奈川工科大学、NHK高校講座数学Ⅱの講師としてもご活躍されている川崎宣昭先生を講師に迎え、「気象予報士・防災士の立場から監視員が安全に活動するための情報」というテーマで基調講演が行われました。



沼田会長(前列左)江幡対策監(前列中央)  
廃棄物規制課小澤課長(前列右)吉成様(後列右から2人目)

## 産業廃棄物処理業の許可の有効期限にご注意ください

産業廃棄物処理業の許可の有効期限は5年(優良認定業者は7年)です。

許可は、更新手続きをしないと効力を失います。許可証の有効期限がいつになっているか、常に注意しておきましょう。

許可証は、常に目の届く場所に掲げましょう。

当協会では、**茨城県知事の許可**については、会員企業へ許可期限満了日の1年前、6ヶ月前、3ヶ月前に許可期限が到来する旨お知らせしております。他都道府県等で許可を取得している方にはお知らせしませんので、特に細心の注意をお願いいたします。

更新許可申請は、産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の更新許可申請(又は新規許可申請)に関する講習会を受講していないと申請書は受理されません。

許可期限間近になっての講習会受講は、遠隔地で受講しなければならない場合もあり、時間的にも、経費的にも負担が大きくなりますので、ご注意ください。

講習会修了証の有効期限は、講習会終了日の日から起算して、新規許可講習会修了証は5年間、更新許可講習会修了証は2年間です。

(都道府県によっては、その取扱いが異なる場合がありますので、あらかじめ許可申請先に確認してください。)

**2026年度産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会  
及び特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会日程表(茨城会場)**

2026年度の講習会は、オンライン形式と対面形式の2つの開催形式になります。

**許可申請に関する講習会及び特管責任者講習会日程(茨城会場)**

\*オンライン形式…事前にインターネットで講義動画を視聴して受講し、会場で修了試験を受ける。

課程	開催日	開始時間	受講料	定員
新規収集運搬	7月9日(木)	10:00	27,500円	55名
	7月10日(金)	10:00		
	10月22日(木)	10:00		
	10月23日(金)	10:00		
	3月4日(木)	10:00		
新規処分	3月3日(水)	10:00	42,900円 (*62,700円)	20名
更新収集運搬 (特管含む)	7月9日(木)	15:40	17,600円	55名
	7月10日(金)	13:30		
	10月22日(木)	15:40		
	10月23日(金)	13:30		
	3月3日(水)	15:40		
	3月4日(木)	15:40		
	3月5日(金)	13:30		
更新処分 (特管含む)	3月3日(水)	10:00	22,000円 (*35,200円)	30名
特別管理責任者	7月9日(木)	13:30	14,300円	55名
	10月22日(木)	13:30		
	3月3日(水)	13:30		
	3月4日(木)	13:30		
	3月5日(金)	10:00		

(\*処分課程に収集運搬課程を追加して受講する場合)

\*対面形式…会場で講義を受講し、講義後に修了試験を受ける。

課程	開催日	開始時間	受講料	定員
更新収集運搬 (特管含む)	7月8日(水)	9:00	22,000円	110名
特別管理責任者	10月21日(水)	9:05	15,400円	110名

申込方法は、JWセンターのホームページからのWeb申込のみとなります。

**【 申込受付開始 】**

**処理業の許可講習会：2026(令和8)年3月24日(火)9:00**

**特責講習会：2026(令和8)年3月25日(水)9:00**

※全国の日程及び申込方法については、JWセンターのホームページをご確認ください。

<https://www.jwnet.or.jp/workshop/index.html>

## 県西支部 今治市長沢山林火災跡地 現地視察を実施(令和7年7月5日)

この度、私たち茨城県産業資源循環協会県西支部は、令和7年7月5日、令和7年に発生した愛媛県今治市長沢地区の山林火災跡地を視察しました。

この視察は、被災地の復興支援を目的とし、視察には、藤枝支部長を含む支部会員8名が参加いたしました。

視察に訪れた今治市長沢地区では、広範囲にわたる焼失の爪痕が深く刻まれていました。焼け焦げた木々が立ち並び、山肌は痛々しい姿を晒していましたが、その一方で、懸命な復旧作業の様子や、健気に芽吹き始めた新しい生命の兆しも見られ、自然の回復力と、それに寄り添う人々の姿に深く心を打たれました。



今回の山林火災は、令和7年3月23日午後4時頃に今治市の長沢地区で発生しました。

強風による「飛び火」が主な原因となり、火は瞬間に広がり、その結果、焼失面積は約442ヘクタールに及びました。建物被害は計38棟（空き家6棟、倉庫等10棟を含む）が全焼し、消火活動にあたった消防団員3名が負傷するという人的被害も発生しました。住民への影響も大きく、一時333世帯611人を対象に避難指示が出されましたが、3月31日には解除されています。

消火活動は、発生直後から多くの関係機関が連携し、昼夜を問わず懸命に行われました。

愛媛県の要請で自衛隊や8府県の緊急消防援助隊、消防隊員、地域の消防団が集結し、延べ6,681人が消火活動にあたったとのこと。しかし、強風による「飛び火」が頻発する状況下では、その活動は極めて困難を極めたと推察され、現場の随所にその過酷な戦いの跡が見受けられました。この大規模な消火活動がなければ、被害はさらに甚大になっていたであろうと改めて感じました。

### 〈今治市長へ支援金を贈呈〉

今回の視察では、今治市長の徳永繁樹様にお目にかかり、支援金を直接お渡しすることも重要な目的の一つでした。徳永市長からは、火災発生直後からの状況や現在の復旧への取り組みについてお話を伺うとともに、私たちからの支援金が、被災された方々の生活再建や地域復興の一助となることを願い、協会として今後もできる限りの支援を行っていくことをお伝えしました。市長からは、温かいお言葉と感謝の意をいただきました。

現在、今治市では火災ごみの処理に関する体制を整え、搬入や手数料減免などの対応が行われています。しかし、これほど大規模な災害で発生する廃棄物には、一般的な処理方法だけでは対応しきれない課題が山積しています。



支援金贈呈

今治市を訪問後、快晴に恵まれる中、しまなみ海道の島々を訪れ、素晴らしい景色を堪能することができました。私たち県西支部の活動は東日本大震災の復興支援から始まり、今年で14年になります。異常気象による災害が毎年のように発生しておりますが、県西支部ではこれまで支援を行った地域に心を寄せ、これからも支援活動を行って参る所存でございます。

最後になりますが、この度の山林火災において、昼夜を問わず消火活動にあられた消防、自衛隊、緊急消防援助隊の皆様、そして復旧にご尽力されている全ての方々に心からの敬意を表します。また、被災された皆様が一日も早く平穏な日常を取り戻されることを心よりお祈り申し上げます。

広報調査研究委員会 川嶋光貴 記

**愛媛県今治市の林野火災による被害及び消防機関等の対応状況(第21報)より抜粋**

令和7年5月16日(金)9時30分 消防庁特殊災害室

1 発生日時等

発生日時：調査中

覚知日時：令和7年3月23日(日)15時53分(今治市消防本部)

鎮圧日時：令和7年3月31日(月)11時00分

鎮火日時：令和7年4月14日(月)15時00分

2 出火場所

愛媛県今治市長沢地内 林野

3 出火原因

調査中

4 被害状況

(1)林野被害 481.6ha

(2)人的被害 4人(重症1人、中等症1人、軽症2人)

(3)建物被害 今治市26棟(住家5棟、非住家棟21棟) 西条市1棟(非住家1棟)

5 避難指示等の発令状況

発令されていた避難指示はすべて解除

6 災害対策本部の設置状況

【愛媛県】3月23日19時32分設置 → 3月31日14時17分廃止

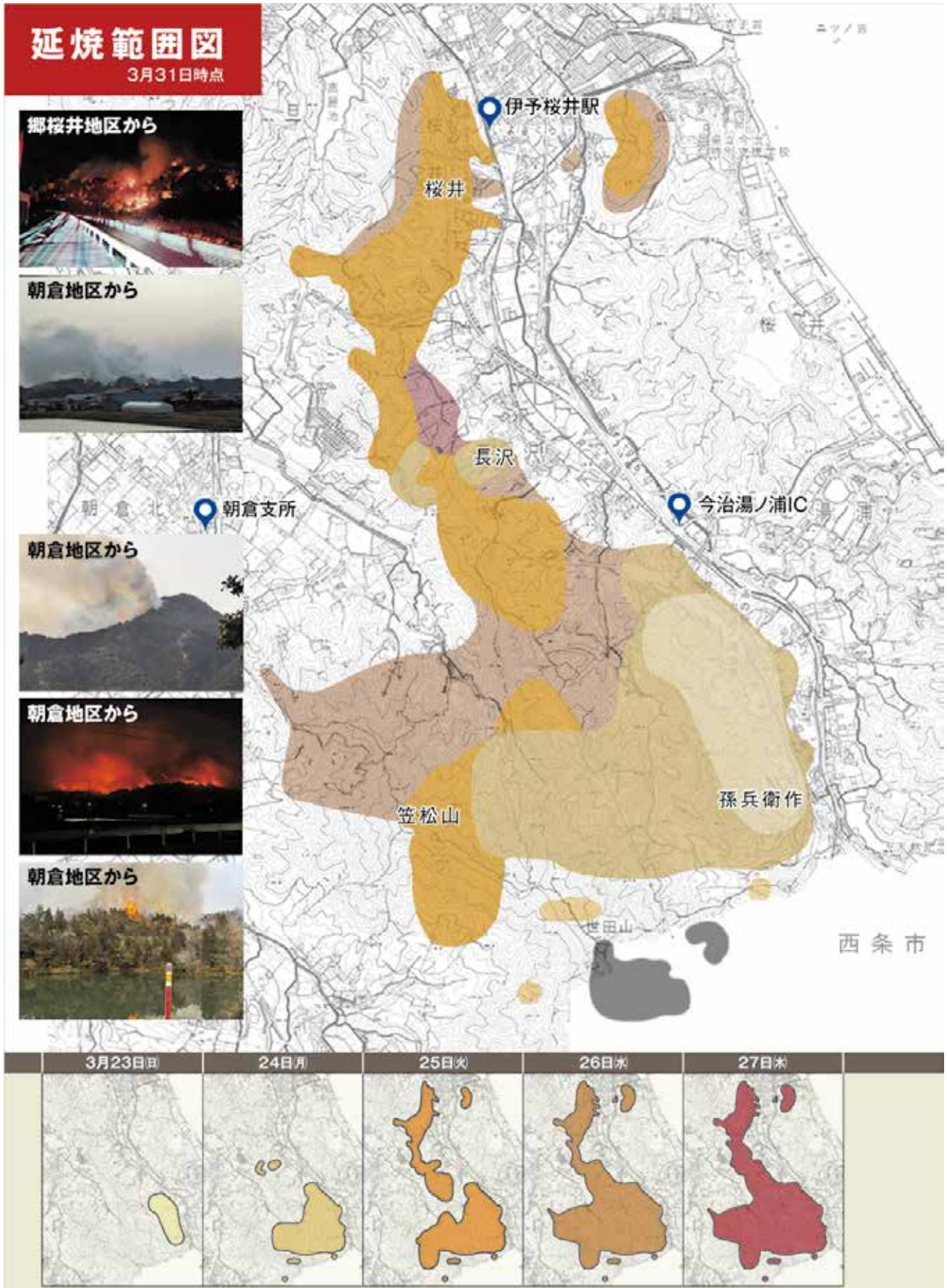


前列左から 今治市 徳永市長 (株)フルヤ建商 古矢氏

後列左から 今治市市民環境部 松本部長 (有)つくば環境サービス 川嶋氏 (株)新栄商事 秋葉氏

高橋商事(株) 藤枝氏 (株)ダイゼン 前島氏 黒沢産業(株) 竹河氏 (株)カノヤ 鹿野谷氏 (株)安田建設 安田氏

今治市の広報誌「広報いまばり 令和7年5月号」より抜粋  
今治市ホームページ <https://www.city.imabari.ehime.jp/>



令和7年8月20日

一般社団法人 茨城県産業資源循環協会  
県西支部 支部長 藤枝 祥一 様

今治市長 徳永 繁樹

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、市政の推進につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたびは令和7年今治市林野火災のため、多額の温かいご寄附を賜り、心より感謝申し上げます。

お寄せいただきましたご芳志は、被災地の復旧・復興および災害に強い安全安心なまちづくりに役立たせていただきたく存じます。

今後とも、なお一層の市政の推進を図ってまいりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

略儀ながら書中をもちまして、心よりお礼申し上げます。

謹 白



茨城新聞 2025年(令和7年)8月2日掲載

## 茨城県産業資源循環協会女性部会活動報告書 《女性部会》

### 全国産業資源循環連合会女性部協議会 第3回通常総会・講演会・ランチ会

期 日：令和7年6月20日（金）  
場 所：明治記念館1階「芙蓉の間」  
参加者：来賓4名、各協会部会員42名（本県協会から稲澤部会長が参加）

#### 1.第3回通常総会

御来賓及び二木会長から挨拶の後、議事の審議が行われ、決算報告、役員選出等が議決されました。

#### 2.講演会

講師：日本女子大学名誉教授 大沢真知子氏  
講演テーマ：『多様な人材を活かすためにアイコンシャスバイアスを可視化する』

- ①女子労働の質的变化
- ②なぜ女性活用は進まないのか？
- ③女性が高学歴化すると男女間の経済格差が拡大する理由

#### 3.ランチ会

講演終了後、円卓を囲んだランチタイムが始まり、開始間もなく、環境副大臣兼内閣府副大臣参議院議員中田宏様がお越しになりました。記念撮影も行われ、和やかで楽しいひと時となりました。



### 関東地域協議会女性部会 第9回通常総会・勉強会・懇親会



令和7年9月19日東京神田にて開催され、東京、埼玉、茨城の会員20名が参加しました。

総会では、今年度の事業計画として、令和8年5月に「協創アクション会議」を開催することなどが決議されました。次回の第10回通常総会は令和8年9月に埼玉県女性部会20周年記念と合同で開催予定です。

続いて開催された勉強会の講師は、小田舞子さん（日経BP、日経xwoman編集部 編集委員）。「駄言」を言っていないですか？

“一人ひとりが主役”の社会を実現するために」がテーマ。内容は、社内のジェンダーギャップを解消し、働きやすい職場を実現するために、例えば人事・役員等における女性の人数を増やす必要性は、男性社員の職場環境改善にもつながること、先入観から大変な仕事は男性に任せようとなると、女性の仕事の機会を奪うだけではなく、男性の長時間労働やストレスに繋がること、駄言とは、個人としてみるのではなく、型にはめて決めつけてしまうこと。アンコンシャスバイアスについて学び、なくしていくこと。

懇親会には杉田関東地域協議会会長と鈴木東京産業資源循環協会事務局長も参加され、和やかに会員同士の親睦を深めました。

### 全国産業資源循環連合会女性部協議会 第4回全国女性部会のつどい・講演会・ランチ会

期 日：令和7年10月31日（金）  
場 所：グランドメルキュール札幌大通公園  
2階「エンプレスホール」  
参加者：各協会部会員等59名  
（本県協会から8名が参加）

第4回のつどいが北海道札幌市で開催され、全国から59名が参加しました。



北海道は、まだ女性部会設立に至っておりませんが、当協会から8名の女性会員が参加し、初めて全国の同業女性経営者とふれあい、活発な意見交換や感性の共有等女性部会の可能性を見出しているようでした。

講演会は、北海道ならではのテーマ「北の大地における資源循環と産廃処理」～玄関の大地と共生～をお話しくださいました。

株式会社旭川浄化 吉田学常務取締役からは雪深い寒冷地でのホワイトアウト等厳しい状況下での事故事例についての報告がありました。



株式会社アンビエンテ丸大 西野尾孝子代表取締役からは、施設周辺の里山づくりや米作とトマト栽培等無農薬農業への挑戦の発表がありました。

地域の社会課題解決や取組が評価され、若者が集まってきていたり海外との連携等ヒントとなる事例が幾つも紹介されました。

全国の会員同士の課題の共有や意識向上等話の尽きない時間となりました。

## 一般社団法人茨城県産業資源循環協会女性部会 第2回通常総会

期 日：令和7年11月7日（金）

場 所：茨城県開発公社4階小会議室

参加者：来賓、部会員含む17名が参加

女性部会は2年目を迎え、第2回の通常総会を開催しました。協会から、上甲副会長、大木副会長、石本副会長、根崎青年部会副会長と河原井事務局長にご参加いただきました。

女性部会員も29名（全国3位）となり若い社員の参加も増え、全産連・関東地域協議会女性部の活動にも積極的に参加してきました。

これからの若者が夢を持って挑戦したい業界となるよう、連携



し意識向上を図ってきました。

廃棄物を焼却・埋め立てから資源循環へ移行する中、足元では人手不足等課題も多いですが、働きやすい職場づくりややりがいの創出等が、潜在的労働力である就職弱者と呼ばれる、女性・若年層・高齢者の雇用へと繋がるよう活動してまいります。

議題としては、令和6年度の活動報告及び令和7年度の活動計画案の承認と役員一部役職変更・顧問就任の承認を行いました。

女性部ならではの事業として、「地域の女性たちと語る環境カフェ」親子で学ぶ「ごみのその後」見学&学習ツアー、

環境紙芝居読み聞かせ「ごみちゃんのたび」などの企画をしております。

今後も、稲澤会長のリーダーシップの下、女性部会の可能性を広げていきたいと思っております。



## 安全衛生委員会よりお知らせ

全産連労災発生情報 No.202303-1

### 焼却炉内の灰を除去作業中に機械のベルトに巻き込まれ死亡



#### 【概要】

焼却炉内の焼却灰を除去していた作業員が焼却灰を集める機械のベルトに巻き込まれて死亡した。

#### 【推定要因】

被害者数	死亡者1名
災害の種類（事故の型）	はさまれ・巻き込まれ
発生要因（物）	防護・安全装置がない
発生要因（管理）	動いている機械、装置等に接近

#### 【同類事故防止対策】 厚生労働省「職場のあんぜんサイト」より

- ▶ 点検・調整作業等に際して、挟まれ・巻き込まれの恐れのある部分には、覆い等を設けること（労働安全衛生規則第101条第1項）。
- ▶ 機械のそうじ等を行う場合には、原則として運転を停止して行うこととされている（労働安全衛生規則第107条）。やむをえず運転中に行うときは、できるだけ幅広く操作できるロープ式等の非常停止装置を設置すること。
- ▶ 点検、調整（そうじを含む）等の作業をも含めた作業標準を、関係作業者に周知徹底し、確実に順守させること。

# 協会からのお知らせ

## 1) 会員事業所の入・退会について

令和7年8月から令和8年2月28日までに、次の会員が入・退会されました。

<b>《 入会 》</b>	<b>【正会員】</b>	・(株)純進建設・(株)嶋村・(株)ブライト
	<b>【賛助会員】</b>	・(株)リョーキ
<b>《 退会 》</b>	<b>【正会員】</b>	・(株)ティー・アール・ケー・(有)ミヤザキ・(有)大槻流通サービス 株MKシステム・千代田メンテナンス(株)・久松解体興業(株) (有)関東実行センター
	<b>【賛助会員】</b>	・ファンファーレ(株)

なお、協会ホームページでは、掲載を希望した会員のみ、検索システムに掲載しておりますので、是非ご利用ください。

## 2) 協会の動き

協会で実施・参加した事業を掲載しております。(予定行事含む)

8月	4日	自民党政調会説明	11月	5日	関東地協事務責任者会議
	21日	青年部会幹事会		7日	第2回女性部通常総会
	22日	エコカレッジ		11日	県南支部不法投棄監視パトロール
	26~27日	防火・防災管理新規講習		13日	県北支部不法投棄撤去事業
	26日	災害対応研修会		15日	チャリティゴルフ寄付金贈呈式
	28日	チャリティゴルフコンペプレゴルフ・打合せ		17日	第3回総務企画委員会
	28日	チャリティゴルフコンペプレゴルフ・打合せ		19日	加藤参議院議員パーティ
9月	3日	建設廃棄物処理料金打合せ	17日	講演会「大規模水災害に学ぶ」	
	5日	手引書作成ヒアリング	19日	関東地域協議会	
	16日	消防訓練	22日	県南支部不法投棄撤去事業	
	18日	親睦チャリティゴルフコンペ	25日	手引書作成ヒアリング	
	19日	第2回総務企画委員会	26日	集団回収表彰審査会	
	25日	建設フェスタ実行委員会	12月	11日	第6回理事会・正副会長会議
	26日	関東地協建設廃棄物委員会 エコカレッジ		13日	第3回総務企画委員会
10月	1日	廃棄物処理計画策定小委員会	18日	災害対応委員会	
	4日	建設フェスタ	22日	筑波山クリーンアップ大作戦	
	9日	第5回理事会・正副会長会議	26日	手引書作成ヒアリング	
	10日	経営者協会公開講演会	1月	8日	茨城県ボランティアU.D.監視員研修会
	14日	鹿島電工会	9日	千鳥会	
	16日	特管責任者講習会(対面)	15日	関東地域協議会事務担当者会議	
	17日	新規収運・更新収運講習会試験	22日	全産連賀詞交歓会	
	17日	エコカレッジ	23日	処理業者講習会	
	17日	手引書作成ヒアリング	23日	中間処理専門部会運営委員会	
	23日	青年部会幹事会	27日	エコカレッジ	
	30日	青年部カンファレンス	30日	令和8年新春賀詞交歓会	
	30~1日	県外研修会	30日	廃棄物処理計画策定小委員会	
	31日	資源循環と環境を考える全国大会	30日	青年部全国大会近畿大会	

2月	3日	全産連事務局責任者会議	3月	3日	産業廃棄物適正処理指導啓発講習会
	4日	処分業者向け項目追加説明会		4日	年金事務所電子申請オンライン説明会
	10日	許可講習会事務担当者会議			防火防災総合訓練
	13日	全産連 全国会長会議 青年部関ブロ賀詞交歓会		5日	更新収運・混合処分講習会試験
	18日	第4回総務企画委員会 災害対応委員会		6日	更新収運・特責講習会試験
	19日	青年部幹事会		10日	建設フェスタ実行委員会 全産連 理事会
	20日	防火防災訓練事前説明会 女性活躍・働き方応援シンポジウム		12日	第8回理事会・正副会長会議
	24日	第2回研修厚生委員会		24日	環境法規制の改正動向と対応実務
	26日	高度化法研修会		27日	関東地協事務責任者会議
	27日	青年部三県合同視察研修会			
	28日	県央支部不法投棄撤去事業			

### 協会ホームページお知らせ掲載内容(8月～2月)\*詳しくは、協会ホームページをご覧ください。

- ・2026年度許可等講習会の開催日程の公表日等について
- ・エコフロンティアかさまに提出する廃棄物処理委託申込書添付書類の簡素化について
- ・事務所不在のお知らせ
- ・【環境省】「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」の改定について
- ・年未年始休業のお知らせ
- ・第2回化学物質管理強調月間の実施について
- ・カーボンニュートラルの取組支援について
- ・「令和7年度産業廃棄物処理検定(廃棄物処理法基礎)第10回」開催のご案内
- ・物資の流通の効率化に関する法律(改正物流法)の施行について
- ・最低賃金額の改定及び各種賃上げ支援施策に関する周知・広報の実施等について
- ・価格転嫁・取引適正化に関する今後の取組について
- ・【環境省】下請法改正の説明会のご案内(9月29日13時30分から)
- ・令和7年度産業廃棄物処理実務者研修会開講(第5期～第7期)のご案内
- ・「令和7年度(第76回)全国労働衛生週間を迎えるにあたって会長メッセージ」について
- ・(環境省)令和7年度政府支援策一覧のお知らせ
- ・2027年施行 廃掃法施行規則改正対応セミナーについて
- ・令和7年度(第76回)全国労働衛生週間について
- ・「地産地消型資源循環加速化事業 3次公募」の実施について
- ・職場における熱中症対策セミナーを開催しました(令和7年7月9日)
- ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)の価格改定について(2025年4月1日～)
- ・「経営者の皆様へ」経営者トップによる所信表明について

### 理事会等の開催結果について

令和7年度第4回理事会(令和7年7月31日) ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸

#### (1) 協議事項

- ①各業務委員会の業務計画について
- ②令和7年度不法投棄廃棄物ボランティア事業について
- ③新規会員の勧誘について

- (2) 審議事項
    - ①入会の承認について
    - ②令和7年度環境保全功労者の推薦について
  - (3) 報告事項
    - ①支部・部会の報告について
    - ②その他
- 協議事項、審議事項とも原案どおり承認されました

**令和7年度行政との意見交換会(令和7年7月31日) ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸**

- (1) 議事
  - ①災害廃棄物処理に係る連携について
  - ②新最終処分場の整備について
  - ③廃棄物処理施設の設置等に係る事前審査要領の改正について
  - ④PCB 廃棄物の処理状況について
  - ⑤PFOS 等を含む水の処理に用いた使用済活性炭の適切な保管等について
  - ⑥不法投棄及び不適正残土対策と現状について
  - ⑦残土条例の改正について
  - ⑧水戸市残土条例の改正(案)について
  - ⑨いばらき自民党への県政要望について
  - ⑩その他

**令和7年度第5回理事会(令和7年10月9日) 茨城県開発公社ビル**

- (1) 審議事項
  - ①業務委員会の委員の任期に関する規則改正について
  - ②専門部会運営委員会の委員の任期に関する規程改正について
  - ③不法投棄ボランティア事業について
  - ④令和7年度不法投棄防止功労者表彰の推薦について
- (2) 報告事項
  - ①令和7年度事業報告及び収支状況報告(8月末)について
  - ②支部・部会の報告について
  - ③その他
- (3) その他  
審議事項について原案どおり承認されました

**令和7年度第6回理事会(令和7年12月11日) 茨城県開発公社ビル**

- (1) 協議事項
  - ①令和8年新春賀詞交歓会の開催について
  - ②茨城県等への要望について
- (2) 審議事項
  - ①令和8年度理事会等の日程について
  - ②令和8年度協会表彰に係る支部の推薦について
  - ③不法投棄ボランティア事業(霞ヶ浦・北浦清掃大作戦)について
  - ④研修会等の開催について
  - ⑤入会の承認について
  - ⑥その他
- (3) 報告事項
  - ①関東地域協議会建設廃棄物専門部会の設立について
  - ②各支部、委員会等報告
  - ③その他
- (4) その他  
協議事項、審議事項とも原案どおり承認されました

## 災害廃棄物対応委員会の開催について

令和 7 年 1 月 11 日（木）茨城県開発公社ビル 中会議室において、令和 7 年度第 2 回災害廃棄物対応委員会を開催しました。

議題

- ①副委員長の指名について
- ②災害廃棄物対応マニュアル案について
- ③災害廃棄物対応時の課題について
- ④その他 について協議いたしました。

令和 8 年 2 月 18 日（水）茨城県開発公社ビル 中会議室において、令和 7 年度第 3 回災害廃棄物対応委員会を開催しました。

議題

- ①大規模災害への対応について
- ②金融機関との災害特例支援に特化した当座借越契約の締結について
- ③その他 について協議いたしました。



## 処理業許可申請の手引き作成ヒアリングを開催

茨城県行政書士会より、県の廃棄物規制課から茨城県行政書士会が審査業務を請け負っている状況で、申請書や届出の補正が膨大なことに鑑み、県の手引きの他にもっと詳しい内容の手引書を作成したい、平成 25 年に協会が作成して以来、改定されていない手引きを今回作成したい旨の要望があり、広報調査研究委員会 大木委員長、黒澤副委員長、行政書士会と合同で、「産業廃棄物処理業許可申請の手引き」について、作成ヒアリングを計 5 回行いました。



## 当協会今川参与が退職されました

令和 7 年 10 月 31 日をもちまして、今川参与が退職されました。

当協会の発展にご尽力いただきありがとうございました。

これまで以上にお元気に、ますます充実した時間を過ごされることを皆でお祈りしております。



### 茨城県資源循環問題政策研究会 第1回定時総会を開催

令和7年9月9日（火）茨城県開発公社ビル 中会議室において、茨城県資源循環問題政策研究会 第1回定時総会を開催しました。

会員数46社 出席17社 委任状29社 計46社で定足数を満たし、総会は成立しました。

総会においては配布された資料に基づき、議案1号～6号まで説明が行われ、出席者より特段の異議はなく、全会一致で承認されました。



挨拶をする古矢政策研究会長



## 廃棄物処理・資源リサイクル業に特化した基幹システム



# 業務間のスムーズな連携で、 事業成長が加速する！

出典：富士エムラ総研「2023 SX / GMによって変化するサステナビリティ / ESGと環境関連市場の現状と将来展望」金額ベースベンチマークシェア 2022年度実績

**導入事例集  
無料プレゼント！**  
お申し込みはこちらから



**JEMS**  
株式会社JEMS (ジェムス)

**0120-857-493**  
Free Dial

本社：〒305-0033 茨城県つくば市東新井31-13 Mail: h-eigy@j-ems.jp

# 経営事項審査

## 防災協定加点

茨城県産業資源循環協会にぜひご入会を！

加点数  
**+ 15 点**

会員なら活用可能！

証明書を発行します。

### 当協会のメリット

当協会は、茨城県・市町村等と「災害廃棄物処理等の協力に関する協定」を締結しています。

- ✓ 会員は個別に協定を結ぶ必要なし
- ✓ 協会発行の証明書で加点申請が可能

入会案内  
(正会員)

入会金：50,000円  
 収集運搬：5,000円（月額）  
 中間処理：10,000円（月額）  
 最終処分：12,000円（月額）  
 中間・最終処分：15,000円（月額）

必要書類

- ✓ 入会申込書
- ✓ 茨城県知事許可証の写し
- ✓ 会社概要パンフレット



詳細・お申し込みはホームページまたはお電話から

(一社)茨城県産業資源循環協会

Tel. **029-301-7100**  
受付（土日・祝除く 9:00~17:00 まで）

ホームページ

(一社)茨城県産業資源循環協会

<https://www.lbaraki-sanpaikayo.or.jp/>



賛助会員（55社）

賛助会員一覧

令和8年3月1日現在

旭化成建材(株)境工場	☎0280-87-5232
(株)ADEKA 鹿島食品工場/鹿島化学品工場	☎0299-97-3363
イーテラス(株)	☎03-5530-8167
(株)伊藤製鐵所 筑波工場	☎029-837-2111
茨城県アスファルト合材協会	☎029-225-6244
(一社)茨城県環境管理協会	☎029-248-7431
(一社)茨城県経営者協会	☎029-221-5301
(一社)茨城県建設業協会	☎029-221-5126
茨城県再生資源事業協同組合	☎0296-77-5764
茨城セキスイハイム(株)	☎029-303-8103
(株)エス・ディー・エス・パイオテックつくば研究所	☎029-847-0300
(株)ENEOSマテリアル鹿島工場	☎0299-96-2510
(株)MCエバテック つくば分析センター	☎029-886-3951
遅塚行政書士事務所	☎029-225-6685
花王(株)鹿島工場	☎0299-93-8311
鹿島石油(株)鹿島製油所	☎0299-97-3104
鹿島ポリマー(株)	☎0299-96-7261
(株)環境研究センター	☎029-839-5501
(株)環境総合研究所 北関東支社	☎029-303-7581
(株)関電工 茨城支店	☎050-3133-2075
行政書士法人水戸総合事務所	☎029-251-3101
キューピー(株)五霞工場	☎0280-84-2596
(株)クレハ 生産・技術本部樹脂加工事業所	☎0299-26-1181
K T S (株)	☎048-483-4883
コバルコ建機日本(株)茨城営業所	☎029-304-5501
コマツ茨城(株)	☎029-304-3810
(株)サンアップ	☎029-852-4490
(株)サンライフコーポレーション	☎0296-73-6691

ジェーワン(株)	☎0296-73-6076
(株)J E M S	☎029-863-7215
住友建機販売(株)関東甲信越統括部茨城支店	☎050-9001-8607
損害保険ジャパン(株)茨城支店日立支社	☎0294-23-3381
(株)第一安全	☎029-302-3200
(株)大紀アルミニウム工業所 結城工場	☎0296-32-3311
ダイキン工業(株)鹿島製作所	☎0479-46-2441
(株)タウ 水戸支店	☎029-300-2007
高砂製紙(株)	☎0297-24-0611
高須行政書士事務所	☎029-862-2730
(株)武井工業所	☎0299-24-5200
(株)中央環境行政事務所	☎029-305-5322
中天通商(株)	☎0280-33-3390
(株)つくば保険事務所	☎029-855-2252
トーソー(株)つくば事業場	☎0297-52-2111
日本キャタピラー合同会社	☎029-850-0011
日本製鉄(株)東日本製鉄所鹿島地区	☎0299-84-2912
日本テクノ(株)水戸営業所	☎029-302-5395
(株)日本トリム	☎03-3537-1611
日立建機日本(株)茨城支店	☎029-847-5432
(株)日立産業制御ソリューションズ	☎0294-53-6115
(株)日立製作所 日立事業所	☎0294-21-1111
ベイニング(株)	☎03-6899-1153
水戸赤塚行政書士事務所	☎029-297-3066
ユニマテック(株)	☎0293-42-2161
(有)ライフサービス	☎029-304-4774
(株)リョーキ 環境機器事業部大宮営業所	☎048-641-0065

\* 会報の発送とともに、事業所等の製品やサービス等を掲載したチラシ等の同封発送サービス、また、メール一斉送信サービスを行っております。情報発信のツールとして、是非ご活用ください。  
ご希望の方やご不明な点等がございましたら、協会事務局までお問い合わせください。

一般社団法人 茨城県産業資源循環協会事務局

〒310-0852  
水戸市笠原町 978-25(茨城県開発公社ビル4F)  
【電話】029-301-7100【FAX】029-301-7103  
【E-mail】info@ibaraki-sanpaikyo.or.jp  
【ホムパージ】http://www.ibaraki-sanpaikyo.or.jp

